

見えない矯正！リンガル矯正（舌側矯正）とは？

歯の裏側（舌側）に装着する矯正装置による方法です。

舌側矯正（裏側矯正、リンガル）は表側から装置が見えないため、『見えない矯正』とも言われています。



舌側矯正は、表側矯正に比べて 歯と歯の間の距離が短くワイヤーからの力が強く作用してしまうために、持続する矯正の弾性力を小さくせざるを得ないため、一般的には、治療期間は長めになりがちですが、噛み合わせが深い場合などは、表側矯正よりも治療が簡単になる場合もあります。また、歯の動きも表側矯正と裏側矯正は異なるため、治療の特性についてよく説明を受けた上で選びください。

・現在は、舌側矯正装置は金属製タイプしか、存在していません。東京審美会では金属の安全性に配慮した金合金で舌側矯正装置のオーダーメイドができるドイツのインコグニト矯正システムもご用意しております。

・舌側矯正には、矯正専門技工所による特別な装置と技術が必要なため、表側矯正よりも高額になります。

・舌側矯正では、舌側の装置が舌に触れるため、表側装置よりも違和感が大きくなります。

東京審美会の総院長はリンガル矯正（舌側矯正）のパイオニア

👉 思い出の矯正患者さま

かつて、私が開設管理者をしていた青山審美会でのお話。

舌側矯正は、矯正していることを隠して、こっそりと治したい！

いかにも奥ゆかしい気持ちで希望される患者さまが多くいらっしゃいました。

医師のKさんは、この頃、非常に珍しかった舌側矯正で歯ならびを矯正していました。

ところがこの患者さま他の一般歯科でお口をあけたら…裏側に装置が付いているので非常に珍しがられ一躍、先生をはじめスタッフの人気者に！

以来、いろいろな人に、口の中の舌側矯正装置を見せては驚かせるという矯正ライフを楽しんでいらっしゃいました。



このようなことを気持ちよくお話するのを、心地よく聞きながら治療するという日々が続いていました。そして、歯ならびがきれいになったので、そろそろ装置をはずしましょうか？という段階になって驚くべき発言が！

『もうしばらくこの舌側矯正装置をはずさないでつけておきたい・・・』

舌側装置をつけていると人気者になれるのでしょうか？はたしてこの後も、意味もなく舌側矯正装置をつけていらっしゃいました(笑)まさに愛される、舌側装置だったのですね！

舌側矯正のパイオニア、青山審美会での思い出の患者さまの一人です。